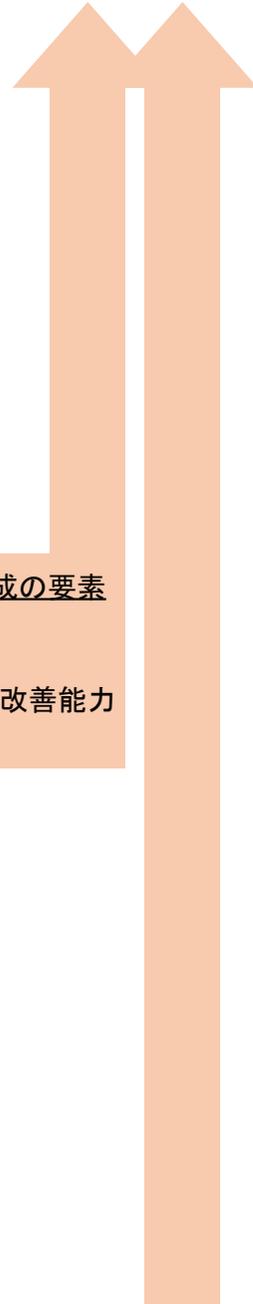


＜秋田県厚生連看護部門共通教育体系＞

看護部教育理念；豊かな感性、倫理性、自律性を身に付け、専門職として成長する



各レベルごとの定義		ジェネラリスト教育			スペシャリスト教育		
		厚生連	院内教育		院外教育	管理 (看護教員含む)	専門
			職場内 OJT	職場外 OFF-JT	看護協会 県 他		
達人 レベル V	より複雑な状況において、ケアの受け手にとって最適な手段を選択し、QOL を高める為の看護を実践する	師長研修 副師長主任研修	各職場内教育（部署別ラダー含む） 病棟・外来	看護研究 及び 実践指導教育	各病院が各レベルに該当すると認められた研修	マネジメント研修（管理ラダー） ＜認定看護管理者教育課程＞ ・サードレベル ・セカンドレベル ・ファーストレベル	＜資格認定制度＞ ・専門看護師 ・認定看護師 ＜特定行為研修制度＞ ・研修修了看護師
中堅② レベル IV	幅広い視野で予測的判断をもち、看護を実践する			リーダー研修 看護研究 実習指導者研修	訪問看護師養成研修 実習指導者研修	キャリア開発ラダーは、ジェネラリスト教育（クリニカルラダーレベルⅢ）終了後、コース選択可能 ①ジェネラリスト ②スペシャリスト 管理（教育含む） 専門・認定看護師など ※レベルⅢまでは、共通研修とする	キャリア開発ラダー構成の要素 組織目標達成能力 人間関係能力 看護サービス評価・改善能力 キャリア開発能力
中堅① レベル Ⅲ	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する	看護中堅研修		ケースレポート プリセプター研修	プリセプター研修		
一人前 レベル Ⅱ	標準的な看護計画に基づき、自立して看護を実践する	看護初級研修 プリセプター研修		オリエンテーション 新人教育	新人研修		
新人含む レベル Ⅰ	基本的な看護手順に従い、必要に応じ助言を得て看護を実践する	入職時研修					

クリニカルラダー（ジェネラリスト）構成の要素；看護実践能力、自己教育・研究能力、組織的役割遂行能力

（看護の核となる実践能力：ニーズをとらえる力、ケアする力、協働する力、意思決定を支える力）